

北海道米食率向上戦略会議(各構成団体) 令和4年度取組実績

実施団体	行事・イベント等の名称	取組期間	具体的な内容
北海道食糧事業協同組合	北糧連グループ 北海道米キャンペーン	2月3日～ 3月12日	北糧連グループ卸の令和4年産北海道米商品を購入したお客様を対象に「クローズド懸賞」キャンペーンを実施
北海道全調理師協会	第57回調理技能コンクール	10月	北海道米を含む道産食材を活用した調理技能コンクール
北海道鮭商生活衛生 同業組合	道産の日	10月3日	北海道米をはじめ道産の最高の食材を使った握りすしを全道の参加店舗で販売した
ホクレン	ホクレン・ディスタンスチャレンジ での大福配布	6月22日 深川大会 7月2日 土別大会 7月6日 深川大会 7月9日 北見大会 7月13日 網走大会 7月16日 千歳大会	・日本陸上競技連盟・北海道陸上競技協会主催の当該大会にて、参加者へ北海道もち米を使用した大福を配布
ホクレン	札幌ドームでの北海道日本酒サンプリング配布 (ホクレンスポンサーデイ)	7月2日	・ホクレン主催 ・ホクレンスポンサーデイにおいて、道内16製造所の日本酒を先着1,000杯に試飲配布
ホクレン	北海道の酒飲み比べキャンペーン 2022	8月8～31日	・ホクレン・北海道酒造組合共催 ・札幌赤レンガの飲食店にて道産酒飲み比べセットを販売 ・セット購入者でアンケートまたはInstagram投稿をを行った人から抽選20名に道産酒(四合瓶)をプレゼント
ホクレン	大鏡餅奉納	6月9日 北海道神宮 12月23日 農林水産省 12月27日 北海道神宮 北海道庁ほか	・北海道もち米団地農協連絡協議会より大鏡餅を奉納 ・北海道神宮祭・年末年始に合わせて実施
ホクレン	さっぽろオータムフェストでのもち米使用メニューの販売	9月9日～ 10月1日	・(株)ニトリパブリック企画運営(ホクレン協賛) ・さっぽろオータムフェストの大通10丁目の出店店舗にて、北海道もち米を使用したメニューを販売 ・北海道もち米のPRならびにリーフレットを配布
ホクレン	北海道の酒で乾杯2022	9月28日～ 10月7日	・北海道酒造組合主催 ・札幌狸小路7丁目の飲食店と連携した日本酒飲み比べとおつまみの相性アンケートを実施

実施団体	行事・イベント等の名称	取組期間	具体的な内容
ホクレン	2022農業・農村フェスタ in赤レンガ	10月1日	・農業・農村ふれあい実行委員会主催 ・イベント内のステージにて、名寄風連のもち米を使用した餅つき実演や切り餅等の販売を実施
ホクレン	日本酒アワード	9月16日	・道内16製造所・道外4製造所が出品し、20種類を試飲の上審査を実施 ・計7部門にて表彰、総グランプリは上川大雪酒造の碧雲蔵/十勝 特別純米となった
ホクレン	モチモチベーション北海道	12月～1月	・年末年始のモチ需要期に合わせ、道内の切りもち消費喚起に向け、「モチモチベーション北海道」をキャッチフレーズに販促を展開 ・道内でのCM放映、地下鉄ステッカーの掲載、Instagramでのキャンペーンを実施し、PRを行った
JA新はこだて	函館大妻高校 食育授業（田植え）	5月31日	同高校 食物健康科1年生の田植え体験授業を実施、北斗生産者の圃場を使用 主催：函館大妻高校 講師 JA新はこだて
JA新はこだて	谷川小学校 食育授業	7月9日	北斗市給食センターと連携し、お米に関する知識、出来るまでの過程を説明、ご飯の食べ比べを実施した
JA新はこだて	浜分小学校 食育授業	9月5・6日	北斗市給食センターと連携し、お米に関する知識、出来るまでの過程を説明、ご飯の食べ比べを実施した
JA新はこだて	久根別小学校 食育授業	9月12・13日	北斗市給食センターと連携し、お米に関する知識、出来るまでの過程を説明、ご飯の食べ比べを実施した
JA新はこだて	函館大妻高校 食育授業（稲刈り）	9月27日	同高校 食物健康科1年生の稲刈り体験授業を実施、北斗生産者の圃場を使用
JA新はこだて	函館大妻高校 食育授業（脱穀・精米）	10月11日	同高校 食物健康科1年生の脱穀・精米体験授業を実施
JA新はこだて	函館大妻高校 弁当販売イベント	11月12日	同高校 食物健康科2年生による「ふっくりんこ」を使用した弁当「大妻日和」を、あぐりへい屋でインターンシップ形式で販売

実施団体	行事・イベント等の名称	取組期間	具体的な内容
JA新はこだて	大妻高校ふっくりんこ創作料理コンテスト	12月7日	田植え・稲刈り・脱穀・精米したお米を使用した創作料理コンテストに参加
JA新はこだて	大野小学校 食育授業	11月21日	北斗市給食センターと連携し、お米に関する知識、出来るまでの過程を説明、ご飯の食べ比べを実施した
JA新はこだて	萩野小学校 食育授業	12月1日	北斗市給食センターと連携し、お米に関する知識、出来るまでの過程を説明、ご飯の食べ比べを実施した
JAたいせつ	北海道米ななつぼしの日キャンペーン	7月2日	日本記念日協会が認定する「ななつぼしの日（7/2）」にあわせて、たいせつ農産物直売所にて「JAたいせつ米ななつぼし」5kgを税込1,700円（通常1,890円）で72袋限定、一人2袋まで販売。購入者特典としてJAたいせつ玄米入緑茶2本をプレゼント
JAたいせつ	JAたいせつ米3kg米袋新販売	7月中旬	直売所田んぼアート支店の7/9にオープンにあわせて、田んぼアートデザインの3kg入りの紙袋を製作し販売
JAたいせつ	JAたいせつ米新米予約SALE	9月13～21日 9月27～29日	令和4年産新米の事前予約を行い混雑を避けるため引換期間を指定し販売。「ゆめぴりか」5kg税込2,200円、「ななつぼし」5kg税込1,700円で提供し、購入者特典として玄米入緑茶1本をプレゼント
JAたいせつ	北の恵み食べマルシェ2022	9月17～19日	【旭川米生産流通協議会】道北地域の食の祭典が3年ぶりに開催され、市内統一ブランド米「大雪山見て育ったの（ななつぼし）」の升売りを出店
JAたいせつ	旭川100フェスinスタルヒンスタジアムにて新米PR	10月16日	【旭川地域青年農業者連絡協議会】旭川市市制施行100年記念事業イベントにおいて新米「ゆめぴりか」「ななつぼし」の升売りや試食用おにぎり1,000食及びどん菓子800袋の配布
JAたいせつ	ななつぼしレストラン	11月19日	【旭川米生産流通協議会】旭川出身の下國シェフを招き、地元で生産された「ななつぼし」と農畜産物を使用したフルコース料理を味わうイベント。ランチとディナーの2回開催し、市内4JAの生産者や関係者、一般募集した多くの市民が参加
JAたいせつ	旭川米生産流通協議会トップセールス	11月15～16日	【旭川米生産流通協議会】市内4JAの組合長、今津旭川市長、谷鷹栖町長等がコロナ禍での米の需要減少を受け、産地評価向上を図るために道外の大手米卸や加工米飯メーカーを訪れ意見交換をした
JAたいせつ	JA特産販売会	11月26日	上川管内7JAが地域特産品を持ち寄り一般消費者に向け販売。当JAでも新米をはじめ、野菜・オオカミの桃・玄米入緑茶・愛すご飯をアイテムに参加した

実施団体	行事・イベント等の名称	取組期間	具体的な内容
J A たいせつ	冬のフェア	1月21日	たいせつ農産物直売所にてJAたいせつ米や販売協議会会員が作った加工品を中心に販売。キッチンカーも出店し会場を盛り上げた
J A 北いぶき 妹背牛支所	田植え体験ツアー	5月21日	・コープさっぽろ主催による、消費者24名関係者16名で妹背牛町ふれあい農園にて田植え体験ツアーを実施
J A 北いぶき 妹背牛支所	稲刈り体験ツアー	9月18日	・コープさっぽろ主催による、消費者28名関係者16名で妹背牛町ふれあい農園にて稲刈り体験ツアーを実施
J A 北いぶき 妹背牛支所	コープさっぽろ新米キャンペーン	10月30日	・コープさっぽろ主催による、妹背牛町生産者及びJ A 職員でコープさっぽろの店頭立ち、直接消費者との交流等を図りながら新米の販促を実施
J A 北いぶき 沼田支所	新米キャンペーン	11月6日	コープさっぽろルーシー店にて「沼田町産ななつぼし」「沼田町産無洗米ななつぼし」「北いぶき産無洗米ななつぼし」の3種類を5kgでの販売。コロナウィルスの影響で試食してもらうことはできなかったが、100袋ほど販売した。
J A 北いぶき 沼田支所	小学校との食育事業	11月16日	コロナ禍以前のような餅つき体験やうどん作りはできなかったが、沼田小学校で農業機械の試乗体験とドン菓子作りの見学、試食体験を実施。事業終了後には事前に袋詰めした新米のゆめぴりかとドン菓子を先生と生徒にプレゼントした。
J A 北いぶき 秩父別支所	新米キャンペーン	10月下旬	[中止] ・秩父別産の新米販売促進を札幌近郊のホクレンショップにて実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止（試食ブース等の実施が困難な為）
北海道米販売拡大委員会	コンサドーレに対する北海道米の提供	通年	北農5連とコンサドーレの相互連携協定に基づきコンサドーレしまふく寮へ「ななつぼし」を年間供給（2,280kg）。コンサドーレにはSNSを通じ、北海道米の愛食に関する情報の定期発信をしてもらった
北海道米販売拡大委員会	親子田植え体験教室の開催	5月29日	田植え体験とホクレンパールライス工場見学と北海道米のプレゼントを通じ、北海道米をより身近に感じてもらうことで、消費喚起を図った
北海道米販売拡大委員会	札幌コレクション2022へのブース出店	5月29日	来場者へ、ライスボールプレイヤー川原悟さんのオリジナルおむすびと、いちごだんご（原料：きたゆきもち）を配付し、若い女性を中心とした来場者への消費喚起を図った

実施団体	行事・イベント等の名称	取組期間	具体的な内容
北海道米販売拡大委員会	親子で参加！オンラインおむすび教室の開催	6月4日	全国の小学生親子を対象に、管理栄養士による食育講座と、ライス・ル・レイヤ-川原氏によるおむすび教室、お米に関する小学生からの質問に道青年部役員（生産者）が回答するイベントを通じ、「ごはん食」の推進を図った
北海道米販売拡大委員会	新米ママを応援！北海道米はじめての食育の開催	6～3月 (計5回)	生後2～8カ月の乳児を持つ母親を対象に、会場での管理栄養士による講話を通じ、赤ちゃん・母親のための、お米を中心とした日本型の食事の大切さを説明し、健康づくりを支える北海道米の消費喚起を図るとともに、参加者には北海道米をプレゼントした
北海道米販売拡大委員会	HBCラジオと連携した北海道米使用飲食店の動画配信	7～3月 (年4回)	毎週北海道米アンバサダーが出演するHBCラジオ番組「気分上昇ワイドナルミッツ」との連動企画として、番組アナウンサーとアンバサダーが飲食店を訪問。美味しさを訴求する動画をYoutubeを通じて定期配信し、業務用向け等の消費拡大を図った
北海道米販売拡大委員会	階層別食育セミナーの開催	7～1月 (計17回)	お米と健康の関係や糖質制限問題など、「ごはん食」推進に向けた食育セミナーを中学・高校・専門学校・大学（短大・4大）の授業の一環や、全国高校生料理選手権参加高校生を対象に開催し、北海道米の消費喚起を図った 参加者のうち管理栄養士や調理師、スポーツトレーナー等を志望し、将来的に「ごはん食」への関わりが強く期待される学生を念頭に「ごはん食推進応援団」育成に向けた基盤作りを図った
北海道米販売拡大委員会	親子稲刈り体験教室の開催	9月25日	稲刈り体験とホクレンパールライス工場見学と北海道米のプレゼントを通じ、北海道米をより身近に感じてもらうことで、消費喚起を図った。
北海道米販売拡大委員会	北海道米LOVEごはんのおともグランプリの開催	8～12月	北海道米LOVE公式Instagramを通じ、①旬な道産食材使用、②調理が簡単、③ごはんがどんどん進むがコンセプトの料理レシピの募集と、一般投票によるグランプリ選考を行い、ごはん食の推進と消費拡大を図った。なお投票参加者には抽選で「ゆめぴりか」2kgと、ごはんが進むオリジナルレシピ本をプレゼントした
北海道米販売拡大委員会	「ゆめぴりか」コンテスト2022 最高金賞予想キャンペーンの実施	11月	全道ゆめぴりかコンテストで決定する「最高金賞ゆめぴりか」地区予想キャンペーンを展開し、「認定マーク」を含む取組の認知向上と消費拡大を図った
北海道米販売拡大委員会	「冬のごちそうゆめぴりかの日」 制定記念キャンペーンの実施	12～1月	12月第4日曜日の記念日制定を踏まえた「ゆめぴりか」精米プレゼントキャンペーンを展開し、消費喚起を図った

実施団体	行事・イベント等の名称	取組期間	具体的な内容
北海道米販売拡大委員会	謹賀新年「北海道米プレミアムギフトセット」プレゼントキャンペーンの実施	1~2月	北海道米LOVEInstagramの応援（フォロー）に対する感謝として、「ゆめぴりか・ふっくりんこ・ななつぼし」精米セットのプレゼントキャンペーンを展開し、品質を含めた北海道米の消費喚起を図った
北海道米販売拡大委員会	「ふっくりんこ」の日記念キャンペーンの実施	2月	2月9日の「ふっくりんこの日」を記念した「ふっくりんこ」精米のプレゼントキャンペーンを展開し、消費喚起を図った
北海道米販売拡大委員会	ラクうま北海道ごはん料理教室の開催（オンライン）	2月25日	北海道米LOVE公式Instagramで毎週紹介の「ラクうま！北海道ごはん」をテーマとしたオンライン料理教室を開催し、ごはん食の推進と北海道米の消費拡大を図った
北海道米販売拡大委員会	お米と健康セミナー2023の開催	3月23日	「お米と健康長寿の医学的関連」をテーマに、著名な医学部教授や道内で馴染みの管理栄養士による講演やトークセッションを通じ、中高年や高齢世代の糖質との付き合い方や、日本人ならではの食生活の大切さの理解促進を以て、北海道米の消費喚起を図った

各地区北海道米食率向上戦略会議等 令和4年度活動実績

地区	取組内容	取組期間	場所	具体的な内容
空知	「空知フェア」におけるPR活動	7月6日	JR札幌駅 北海道どさんこプラザ 札幌店	・空知産農産物ブランド化推進会議の活動である「空知フェア」において、米すくいを実施し北海道米の販売拡大に向けたPRを実施
	「新米試食会」の開催	10月14日	空知農業会館	・管内主要品種等の品評と空知産の新米PRを実施 品評品種：ゆめぴりか、ななつぼし、ふっくりんこ 管内農協組合長会会長、道米対策委員、中央会、ホクレン、普及センター等の関係機関、局内幹部職員15名の他、報道機関及び一般職員が参加
石狩	「インカリ★マルシェ号×夏豚丼」物販イベントにおけるPR活動	7月12日 ～8月30日 (資材配布は 7月12日のみ)	赤レンガ庁舎前	・石狩管内産の米、豚肉を使用した豚丼の販売（主催：ホクレン札幌支所） ・北海道米PR資材（クリアファイル・ポケットティッシュ等）の配布（約100名）
	さっぽろグルメ&夜景フェスin羊ヶ丘におけるPR活動	8月7日	羊ヶ丘展望台	・石狩管内産の農畜産物を使用したいしかり8（おむすび）の配布（3種類×100個） ・北海道米PR資材（クリアファイル・ポケットティッシュ等）の配布（約300名）
後志	ニセコクラシック2022	6月12日	ニセコヒラフ スキー場駐車場	・北海道のもち米紹介とスポモチ（スポーツもち）ポスターのパネル展示 ・スポモチのパンフレット配布 ・自転車レース参加者に道産もち米を使用した大福の配布 北海道産「きたふくもち」を使用した大福の配布／430個（限定） 【主催：一般社団法人北海道イベント】
	北海道米抽選会&牛乳配布会@Aiba小樽	11月24日	小樽市（ウイングベイ小樽）	・勝馬投票券を購入した人に抽選で、北海道米をプレゼント 北海道産無洗米 3合パック（20点） 北海道米PR資材（ポケットティッシュ、ウェットティッシュ、手提げ袋各150点）
胆振	胆振の食材を使ったおむすびのメニュー「いぶり11（イレブン）」のPR活動	7月20日	胆振管内	・管内学校（大谷高校）で、おむすびの実習及び授業を実施 ・米は胆振管内産のななつぼしを使用 ・いぶり11のPRパンフレットの配布

地区	取組内容	取組期間	場所	具体的な内容
胆振	おむすび「いぶり11」「いしかり8」販売イベント	3月24日～4月2日	札幌市	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市内の飲食店において、販売イベントを開催し、レシピの知名度向上を図った いぶり11のPRパンフレットの配布
日高	日高管内JAプライベートブランド米の共同購入	10月中旬～11月初旬	日高振興局	<p>[中止]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日高管内のJAが生産・販売しているPB（プライベートブランド）米を振興局職員を対象として斡旋販売を実施
	浦河消費者協会主催「消費生活展」における管内産新米のPR活動	10月21日	浦河町総合文化会館	<p>[中止] 主催者：浦河消費者協会</p> <ul style="list-style-type: none"> 浦河町内で一般消費者を対象とした、浦河消費者協会のイベントにおいて、管内産新米のPR活動を実施 新米でなく、トマトのPRへ変更
	令和4年度ひだか新米試食会「馬舞米」「ニシパの恋人米」「万馬券」	11月第2～4木曜日	札幌市役所地下食堂	<ul style="list-style-type: none"> 日高における地域ブランド米「馬舞米」「ニシパの恋人米」「万馬券」を各1日ずつ食堂利用者に米飯メニューで提供し、併せてPR活動を実施（各日1,000食相当）
渡島・檜山	函館マラソン	7月3日	函館市	<ul style="list-style-type: none"> マラソン出場者全員に「函館育ちふっくりんこ300g」を配布
	「ふっくりんこ」生産者による新米販促	11月19～20日	函館市	<ul style="list-style-type: none"> ホクレンショップ函館昭和店において、生産者による店頭販売応援と、新米「函館育ちふっくりんこ」お買い上げの方に先着で「ふっくりんこ」を使用したおにぎりの配布を実施 函館新聞の告知広告において、新米の当たる懸賞プレゼントを実施
	ふっくりんこの日イベント	2月9日	函館市	<ul style="list-style-type: none"> 2月9日の「ふっくりんこの日」1周年を記念した複合的プロモーションを実施 ホクレンショップ函館昭和店において買い物をした方に先着にてふっくりんこのおにぎりを配布 ラッキーピエロ北大前店において記念メニュー「ふっくりんこ2.9倍カレー」を実施 函館新聞の告知広告において、「ふっくりんこ」が当たる懸賞プレゼントを実施

地区	取組内容	取組期間	場所	具体的な内容
渡島・檜山	フードフェスタ	2月26日	函館市	<ul style="list-style-type: none"> ・はこだてフードフェスタの会場において、小学生を対象に、「ふっくりんこ」を使用したおにぎり作り体験を実施 ・道南エリアの海産物を自由に選択できる「海鮮丼コーナー」において、「ふっくりんこ」を提供・PRを実施
	北糧連グループ 北海道米キャンペーン	2月1日～ 3月12日	全道	<ul style="list-style-type: none"> ・期間中、令和4年産北海道米商品（5kg・10kg）をお買い上げのお客様に専用サイトより必要事項と貼付シールに記載のシリアルナンバーを入力・応募いただき抽選で景品が当たるキャンペーンを実施
	北海道産ななつぼし試食イベント	12月7日	札幌市・石狩市	<ul style="list-style-type: none"> ・函館米穀実施 コストコ様の札幌倉庫店と石狩倉庫店にて、ななつぼしの試食イベントを実施 来場約800人
	鏡餅寄贈	12月27日～ 1月6日	渡島振興局 八雲町役場 他9か所	<ul style="list-style-type: none"> ・もち米の消費拡大に向けて、八雲町産の「風の子もち」を使った鏡餅を寄贈
	大福もち寄贈	1月25～27日	八雲町内小中学校 11校	<ul style="list-style-type: none"> ・八雲町産「風の子もち」のPRのため、八雲町産もち米を使用した大福もちを町内小中学校児童生徒教員分1,168個を配布
	北海道産ななつぼし試食イベント	2月4日	札幌市・石狩市	<ul style="list-style-type: none"> ・函館米穀実施 コストコ様の札幌倉庫店と石狩倉庫店にて、ななつぼしの試食イベントを実施 来場約1500人
上川	上川神社への大鏡餅奉納	7月19日	上川神社	<ul style="list-style-type: none"> ・年々、もち食文化が失われつつあるなか、地域で相応の歴史・規模を有する神社への鏡餅贈呈を通じ、身近なもち食の再認知と上川農業の発展、コロナの早期収束を祈願し上川神社へ大鏡餅を奉納した 【上川地区農協米対策委員会 主催】

地区	取組内容	取組期間	場所	具体的な内容
上川	上川地区「金賞ななつぼし」コンテストの実施、ANAフーズでの商品展開	11月8日～	JA上川ビル（みはら食堂）／ANAフーズ商品部	・上川12JAの「ななつぼしコンテスト」を実施。審査員としてANAフーズ様の協力をいただき「金賞ななつぼし」を決定。対象産地のななつぼしについては、期間限定でJA上川ビル内みはら食堂にてご飯として提供、お食事いただいた方の中から抽選で10名様に同ななつぼしが当たるキャンペーンを実施。また、当内容をフリーペーパー「ライナー」にて告知を行い、取組の認知向上を図った 【上川地区農協米対策委員会 主催】
	JA女性部・青年部が考えたご飯がすすむ農家めし	9月5日～12月9日	JA上川ビル（みはら食堂）	・各JA青年部・女性部合同で、上川管内の農畜産物を活用した「お米に合う料理レシピ」を開発し、レシピ集の作成・配布を行うとともに、実際に上川ビル内みはら食堂にて料理提供を行った 【JA上川地区女性協議会、JA上川地区青年部協議会 主催】
留萌	飲食店等へのスイングPOP配布	通年	管内一円	・留萌管内産米を啓発するPR資材のスイングPOPを、飲食店・販売店・宿泊業各店舗へ配布
	「留萌管内産米PRのぼり」の配布	通年	管内	・留萌管内は生産量は少ないが、全道屈指の良質米産地として知られており、「るもい管内産米PRのぼり」を配布することで、留萌管内が良質米の産地であることをPRを行う のぼり旗：のぼり旗（縦180cm×横60cm） ミニのぼり旗（縦30cm×横10cm） 掲示場所：管内公共施設、JA、飲食店、宿泊施設
	るもい米普及戦隊「コメファイターネオ」によるPR活動	9月11日	留萌市	・「るもい川まつり」にてコメファイターネオの衣装を活用し管内産米のPRを行った 【主催：るもい川まつり実行委員会】
		9月	増毛町	・「増毛秋の味まつり」にてステージイベントや来場者とのふれあいを通じて管内産米のPRを行う 【主催：増毛町】 ⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
		3月12日	留萌市	・「萌っこ春待里」にてお米に関するクイズなどを実施し、管内産米のPRを行った 主催：萌っこ春待里実行委員会

地区	取組内容	取組期間	場所	具体的な内容
留萌	留萌市食農教育推進協議会 「稲刈体験」	10月	留萌市幌糠	・市内4カ所の小学校の児童を対象に「稲刈体験」を実施 ※コメファイターネオ衣装活用 ※留萌市内の小学生に、農業体験を通じて農業への関心と理解を深めてもらい、また、「農業」と「食」の楽しさや大切さを学んでもらうことを目的に各種活動を実施 ⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	「留萌地区新米発表会」、「留萌地区ゆめぴりかコンテスト」、「留萌地区ななつぼしコンテスト」の開催	11月	羽幌町	・留萌地区農協米対策協議会など主催による留萌地区の「新米発表会」、「ゆめぴりかコンテスト」及び「ななつぼしコンテスト」において、コンテスト審査員として戦略会議構成員が参画 ・コンテスト最優秀米は前年同様、「留萌プレミアム」として首都圏の百貨店及び系列高級スーパーにて商品化される ⇒ 実績なし
	食育活動への支援	随時	管内	・生産者が実施する田植え・稲刈り体験活動との連携 ・学校教育との連携等 ⇒ 実績なし (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体験学習等がなかったため)
	留萌地区農協米対策協議会、留萌地区「ゆめぴりか」生産販売連絡協議会との連携	随時	管内、管外	・留萌地区農協米対策協議会、留萌地区「ゆめぴりか」生産販売連絡協議会が実施する消費拡大活動との連携(コメファイターネオの貸出・活用等) ⇒ 実績なし
	管内産酒造好適米を使った地酒消費の推進	通年	管内	・留萌地区酒米生産協議会を通じた生産技術の向上を検討
宗谷	2022宗谷管内農畜産品地産地消フェア	10月15日～ 10月16日	シティわっかない店	・シティ稚内店の買い物客に、普段食しているお米の米柄を回答してもらうアンケート調査を実施(①ゆめぴりか②ななつぼし③ふっくりんこ④その他道産米⑤道外のお米から選択) ・回答者にはノベルティ(紙袋、ラクウマレシピ集、クリアファイル、ラップ、ウェットティッシュ)を配布 ・2日間のアンケート結果はゆめぴりか93票、ななつぼし70票、ふっくりんこ4票、その他道産米16票、道外産米14票で、総数は197票。北海道米の食率は93%だった
オホーツク	コープさっぽろ食べるたいせつフェスティバル出展	9月17日	北見市	【主催者：コープさっぽろ】 コープさっぽろ主催の食育イベントであり、当課では貴局と連携の上、管内きたゆきもちを使用した「おはぎ」づくりを実施

地区	取組内容	取組期間	場所	具体的な内容
十勝	とがち酒文化再現プロジェクトへの参画	通年	管内	地域の産官学金の連携による十勝産酒造好適米を原料に使用した日本酒の製造・消費拡大の取組に振興局が連携機関として参加・協力した（事務局：帯広信用金庫）
釧路	実施なし			
根室	なかしべつJA夏祭り	8月14日	中標津町農協	[中止] ・ステージにて北海道米をPR ・北海道米消費実態に関するアンケート実施 ⇒新型コロナウイルスの影響により中止
	かに祭り	9月初旬	根室港特設会場	[中止] ・北海道米の試食 ・北海道米を使用したメニューへ北海道米を提供 ⇒新型コロナウイルスの影響により中止
	さんま祭り	10月9日	根室港特設会場	・北海道米を使用したメニューへ「ふっくりんこ」「ななつぼし」を提供 ・アンケート回答者に対し北海道米サンプル及びPR資材配布 ・PR要員として、着ぐるみ「ななつぼし」参加 ・乳和食のPR及びレシピの配布を実施